

研究課題名

乳がん検診受診者を対象とした遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)の high risk の検討

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、2018年度から2020年度にちば県民保健予防財団が実施する乳がん検診受診者の中から遺伝性乳癌卵巣癌症候群(Hereditary Breast and Ovarian Cancer ; HBOC)の high risk に当たる受診者の特徴を検討します。

乳癌の5～10%は、HBOC と称されている BRCA1 および BRCA2 の病的変異で発症しています。HBOC の乳癌は、トリプルネガティブという非常に悪性度の高い乳癌が多く、早期に発見するためには、通常のマammographyや超音波検査の単独検診では難しく、検診間隔、開始年齢を含めたリスク別の検診が必要と考えられます。

今回の研究は、乳がん検診受診者の中で、NPO 法人 日本 HBOC コンソーシアムが提唱している HBOC high risk の項目に該当する人数および検診結果を把握し、次世代の乳がん検診に対する方向性を検討することが目的であります。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆さまの個人情報を削除した上でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究は、検診受診時に「個人情報の取扱い」に同意をされた方のデータを用いて実施しますが、同意の撤回を希望される場合やお問い合わせ等につきましては、下記まで御連絡下さい。

研究責任者

総合健診センター乳腺科 診療部長 橋本 秀行